

まつぼっくり

平成28年10月14日 発行

校長 薦 林 洋 司



「読み聞かせ」で 活躍！ ～「東公民館まつり」で町畑の子どもたち～

10月8日～9日、東公民館まつりが開催されました。

本校で読み聞かせをしてくださっている松井敬子さん（桜ヶ丘一丁目）のお声がけで、町畑の子どもたちが「読み聞かせ」のお手伝いを始めて今年で4年目になります。

今年は、5年生と6年生から9名の子どもたちが3チームに分かれて参加しました。紙芝居の「泣いた赤鬼」では、赤鬼、青鬼を役割分担して読んだり、落語の「寿限無」や「時そば」にチャレンジしたりと、小さい子どもからリクエストされたアンパンマン（紙芝居）や自分の好きな本を表現豊かに朗読しました。この両日、八戸市子ども会連合会の初級リーダー研修会と重なり、このボランティアに参加できなかった友だちの分もがんばりました。親子連れや小学生、年配の方々が次々と部屋を訪れ、子どもたちのパフォーマンスに見入っていました。

また、2階ホールでは作品展が行われ、大人の力作にまじって町畑小の子どもたちの作品も多数展示されました。本校PTA会長の安田勝寿コレクションの特別展「懐かしのおもちゃ展」も行われ、年齢を問わず注目を浴びていました。出店の中には、町畑地区子ども会育成連絡協議会のお母さん方のお店もあり、ソーセージや飲料水を売る元気な呼び込みで祭りを盛り上げていました。

一昨年までは、東公民館は学区外に位置するというので、子どもたちだけで出かけてはいけなかったになっていました。しかし、近隣の公共施設を積極的に活用させたいという思いから、昨年からは4年生以上は交通ルールや公共マナーを守った上で参加することを勧めています。お祭りを楽しむことやボランティアとして主催者のお手伝いに積極的に参加することを通して、勤労・奉仕や公共心、公德心を育てていきたいと思っています。



乙山先生と5年生が研究授業

10月5日（水）、本校を会場に八戸市視聴覚研究会の研究協議会が行われ、乙山先生と5年1組の子どもたちがタブレット端末を活用した体育の授業を公開しました。

跳び箱運動の台上前転の練習をするときに、技のポイントが上手にできているか、子どもたち自身がタブレットで撮影し、その動画をその場ですぐにチェック。腰の高さや頭の付き方、回転、着地の仕方を確認します。

参観した多数の先生方から、子どもたちの台上前転のうまさと共にPCタブレットの使い方もほめられました。

町小ブログでは写真も公開しています。 ブログQRコード

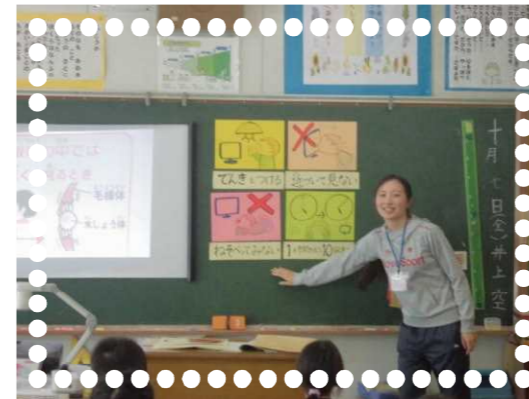


がんばれ！教育実習生

10月3日～22日までの3週間、教育実習に来ているのは加藤佑佳さんです。

加藤佑佳さんは、本校の平成16年度の卒業生です。小学校の頃は特設陸上部の選手として、あの赤いユニフォームで市内陸上に出場した経験があるそうです。大学では保健体育を専攻し、今回、養護教諭（保健室の先生）をめざし教育実習のために母校に来ています。

7日（金）は、2年1組の子どもたちに保健指導をしました。10月10日「目の愛護デー」にちなんで、目の構造とともに、目を大切にしリフレッシュする方法を教えました。はつらつとした笑顔で子どもと接するので、休み時間には子どもたちから引っ張りだこになっています。



養護教諭になるための教育実習でお世話になっています。町小卒業生として母校で実習をすることができて、とても嬉しく思います。保健室経営をしっかりと学び、子どもたちとたくさんふれあい、実り多い実習にしたいと思います。短い期間ですがよろしくお願いします。



ミュージカル「エルコスの祈り」

9月27日（火）市公会堂で行われたミュージカル「エルコスの祈り」に市内6年生が招待され、町小の6年生も観てきました。

これは、劇団四季が主催し、文科省が後援する「こころの劇場」で、舞台を通じて子どもたちの心を育むための社会貢献プロジェクトとして2008年から日本全国で開催されています。

命の大切さ、人を思いやる心、信じ合う喜びなど人が生きていく上で最も大切なものを、舞台を通じて語りかけたい。というのが趣旨です。



◆今から50年後のユートピア学園は、問題児を集めて厳しく管理・教育する学校。夢や希望もない。

ある日、心をもった万能ロボット「エルコス」がやってきて、温かく一人一人の個性を引き出していく。子どもたちはしだいに心を開き、瞳の輝きを取り戻していく。しかし、一人幼い頃のトラウマからロボットを信じられないジョンは、利己的な大人にだまされて、取り返しのつかない事件を起こしてしまうが…。



10月4日（火）八戸市立城北小学校を会場に八戸市お話弁論大会が開かれ、本校を代表して6年生の大江舞さんが出場しました。演題は学級目標にもなっている『価値ある姿に努力あり』。

学級の友だちの行いを見て、自分との違いに気づき自分をよりよく変えていこうと語りかけました。14番目に登場した舞さんは、堂々と落ち着いた態度で話し終え、「ぜんぜん緊張しませんでした。練習したとおりにできました。」と笑顔で自信をのぞかせていました。

結果は、優良賞をいただてきました。

第1回八戸ハーフマラソンに先生チームが出場！

11月13日（日）に東運動公園で行われるこの大会に町畑小教職員が「チーム町畑」で出場します。富岡祥奈、星野達郎、西村洋平、乙山竜太郎、薦林洋司の5人で1周1.6kmをたすきリレーし、13周してハーフマラソン(21.0975km)を走ります。 ご声援を！